

余市町における観光を主軸とした地域経済活性化に関する調査・研究

プロジェクト代表者：西山 茂

1. プロジェクトの目的・概要

このプロジェクトは、余市町における観光資源の活用とTVドラマなどによるコンテンツツーリズムの検証(経済波及効果分析)、長期的な観光戦略の検討を行うことを目的としています。

余市町が観光地としてのブランドアップを図ることで、小樽・札幌との広域観光圏形成も可能となり、地域経済活性化につながるものと考えています。

2. 具体的な取組内容

7月23-24日の日程で北海道新幹線開業の影響調査を実施、新函館北斗駅、木古内駅を訪問したほか、道の駅(木古内)の稼働状況の調査を行ないました。新函館北斗駅では、乗換が主体で、札幌や函館市内に向かう乗客が多く、駅周辺の活性化に欠けることが確認されました。一方で、木古内駅の調査では、新幹線駅と道の駅を連携させ、地域製品のPRを行うことで、地域活性化の拠点として活用、成果が出ていることが確認できました。道の駅を、単なる情報発信拠点や物産販売の場所ととらず、地域の方も利用する交流の拠点と位置づけたことが成功要因と思われます。

これらのことは、これから新幹線の札幌への延伸を控える、ニセコ地域、小樽地域について、参考となる事例と考えております。

新函館北斗駅



木古内駅



木古内道の駅



過年度で得られたデータを分析、今年度の調査結果も踏まえて、論文執筆の作業を行っているところです。

事例の比較

ドラマ	放映による効果	所縁の施設
北海道余市町【マッサン】	放映前から始まり、現在も継続	ニッカウキスキー蒸留所
山梨県甲府市【花子とアン】	放映中の3か月	戦前の空襲で建物の殆んどが消失
石川県能登市【まれ】	放映前から始まり、現在も継続	「漆器店」「輪島市役所」「朝市」
愛知県岡崎市【純情きらり】	放映後から緩やかに減少	「カクキュー八丁味噌」「まるや八丁味噌」

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

今年度の調査・研究成果の地域還元として以下の取り組みを実施しました。

- ①「地域文化と観光資源シンポジウム(余市町主催)」への講師派遣と政策提言
- ②余市町創生総合戦略策定委員会への座長派遣と研究成果の政策への還元



北海道新聞 平成28年11月19日(朝刊) 小樽

